

業界・行政ニュース

1 DAY PAVE

施工見学会開く

伊勢生コン協組ら

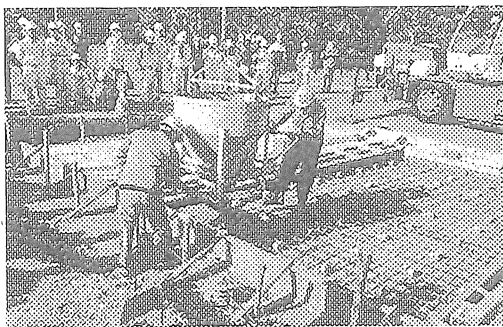
伊勢生コンクリート協同組合（石川周平理事長）、全国生コンクリート工業組合連合会が主催

する「早期交通開放型コンクリート舗装へ1 DAY PAVE」施工見学会」が9日、伊勢市大湊の三重県下水道公社宮川浄化センターで行われ

た。三重県生コンクリート工業組合、全国生コンクリート工業組合連合会、東海地区本部、セメント協会、セメントメーカー（3社）との共催によるもので、国土交通省、県市町職員、建設業、生コン業界から約80人が参加した。写真。

石川理事長は、試験施工地を提供した三重県下水道公社に対し感謝の意を示すとともに「今回、県内で4回目の試験施工となり、発注者の方々に

1 DAY PAVEの知識をより一層深めてもらう機会とし、普及するよう努めていきたい」とあいさつした。試験施工では、同セン



ター場内の道路からの乗り入れ部で、面積約40平方メートル、深さ0.2メートルを対象に、前日の8日に半面、9日に残りの半面に、コンクリート量計8立方メートルを打設した。施工から20時間が経過した半面の区域は、曲げ強度が1平方メートルあたり4.2ニュートン（目標同3.5ニュートン）となり、十分な強度を示した。講習会では、太平洋セメントのセメント事業本部営業部営業推進グループの上田宣人氏がコンクリート舗装の特徴や1 DAY PAVEの事例などを紹介した。